

第2回 公共施設の将来のあり方を考える市民対話<西浦上・三川地区>

【アンケート結果/回答者 19人】

◆市民対話に対するご意見・ご感想

項目	ご意見・ご感想
対話の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・一人が長く話すのではなく、皆が発言出来るよう司会者をお願いしたい。 ・長崎市の「配置の考え方」、すでに長崎市の考えは決まっているように感じた。 ・最初の「配置の考え方」の説明が中途半端だった。この対話は単に結論ありきの方針に後づけに過ぎないとの感じがした。 ・仮に方針があるとしたらはっきり、廃止、統合、継続に区分けたような方針が知りたい。 ・具体的な問題提起がなかった為、話がしづらかった。問題が大きいのので、もう少し回数を増やすことも視野に入れた方がよいのではと思う。 ・年齢層が偏りすぎていた。今後を担う世代が話をしなければと思う。
施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のあり方については、その区域の中心部に集中するのが、住民にとって利用しやすいと思う。 ・人口減少、高齢化が進む中で、施設の多目的利用が必要と考える。 ・すみれ荘の改善対策、例えば段差解消等、これまでも要望してきたが、対応されていない。 ・この地域には縮小又は廃止すべき施設は少ないと思った。 ・長崎大水害の例、今回の広島、岡山の水害例を見ると避難所の充実が必要と思った。 ・災害時はシーボルト大学、商業高校、高等訓練所（県、国との連携）を常に考えるべきと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各場所（地域）の実態がつかめていないので、自分の地域だけのことしか判らない。 ・個別の施設の配置の話をする前に、話すべきことがまだまだ多いと感じた。